

次の文章A・文章Bを読んであとの問題に答えなさい。

文章A 古池や蛙飛びこむ水の音

(松尾芭蕉)

文章B 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。

沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。

(「平家物語」作者不明)

## 問題

右の文章Aの俳句は江戸時代の松尾芭蕉の作品です。解釈は一般的に「古い池に、一匹の蛙が飛び込んだ。水音と共に池の水面に波紋が広がり、やがて、以前にも増して静寂が訪れた。」とされています。文章Bは鎌倉時代の作品、「平家物語」で「祇園精舎の鐘の音は、諸行無常の響きがある。沙羅双樹の花の色は、盛んな者も必ず衰える」という物事の道理を示しているとされています。この二つの文章には共通する点と、異なる点があります。あなたはどのように読み取れるでしょうか。

解答らん①には、読み取れる共通する点を、二十字以上、四十字以内で分かりやすく書きましょう。

解答らん②には、読み取れる異なる点を、二十字以上、四十字以内で分かりやすく書きましょう。

解答らん③には、この二つの文章を読んで、あなたはどのようなことを考えましたか。

あなたの考えを、いくつかの段落に分けて、四百字以上、五百字以内で分かりやすく書きましょう。